

日光国立公園満喫プロジェクト ステップアッププログラム 2025 重点的取組事項に係る評価について

1 評価の考え方

各取組の事業者による自己評価を元に、下記の基準で評価した。

評 価	要 件
S (多くの取組について計画を上回った)	自己評価が 4 ～ 3 ($4 \geq 3$)
A (多くの取組について計画どおり実行できた)	自己評価が 4 ～ 3 ($4 < 3$) 又は全て 3
B (一部の取組について計画どおり実行できた)	自己評価が 4 ～ 1 ($4 \sim 3 \geq 2 \sim 1$)
C (あまり取り組むことができなかった)	自己評価が 4 ～ 1 ($4 \sim 3 < 2 \sim 1$)

(参考) 自己評価の目安

- 4 計画を上回った
- 3 計画どおりに取り組むことができた
- 2 あまり取り組むことができなかった
- 1 ほとんど取り組むことが出来なかった

2 評価の概要

目指す姿	重点的取組事項	広 域	日 光	鬼 怒 川	那 須 甲 子	塩 原	概 要
上質で奥深い魅力 を満喫できる 国立公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	B	B	B	B	
	良質な景観の保全	B	B	B	B	B	
	新しい利用形態や需要への対応	B	A	A	B	A	(各エリア) MaaS の販路拡大、利便性の向上などの利用促進
	人材の育成	B	A	B	B	B	(日光) ガイド資質向上のための研修の実施
体験・滞在型の 国立公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化	B	A	A	B	A	(各エリア) 早朝や夜に行うコンテンツや冬季誘客イベントによる誘客促進
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化	B	B	A	B	B	(広域) web サイトや SNS 等を活用した国内外に向けた情報発信 (日光・鬼怒川) コンテンツの充実化の補助、企業と連携した情報発信 (那須甲子・塩原) 自然体験メニュー等の充実化
	連携強化	B	B	A	A	A	(各エリア) エリア分科会による地域課題の共有・議論
脱炭素・循環型 を実現する 国立公園	受益者負担による環境保全	B	B	—	A	A	(日光) ボランティアによる環境保全活動 (那須甲子・塩原) 責任ある観光地づくりの推進
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	A	A	A	—	A	(各エリア) ビジターセンター等でのリーフレットの配布
	脱炭素に向けた取組の推進	A	A	A	A	A	(各エリア) 脱炭素先行地域として、条例の制定等脱炭素・循環型の仕組みづくり
宣伝・誘客		B	S	B	—	A	(日光) 海外向け PR の実施
その他		B	A	—	—	—	(広域) 日光国立公園指定 90 周年に向けた関係団体との連携等 (日光) 誘客戦略に基づき、アクションプランの策定及び実施

【概要】

(1) 上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園に資する取組について

- ・ 既存施設再整備と維持管理、上質化及び良質な景観の保全等のハード整備については、広域及び各エリアにおいて計画どおり取り組むことが出来なかった。
- ・ 新しい利用形態や需要への対応については、各エリアにおいて、MaaSの販路拡大・利便性の向上などで利用促進を図るなど、計画どおり取り組むことができた事業者が多かった。
- ・ 人材育成については、広域においては、交流や学び合いの場として、みんなでつくろう～日光国立公園フォーラム&交流会を開催した。
日光エリアにおいては、ガイド資質向上のための研修を実施したが、他のエリアでは、計画どおり取り組むことが出来なかった。

(2) 体験・滞在型の国立公園に資する取組について

- ・ 宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化については、各エリアにおいて、早朝や夜に行うコンテンツや冬季誘客イベントを実施し、誘客促進を図った。
- ・ コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化については、広域では、web サイトや SNS 等を活用し、国内外に向けた情報発信を実施した。
日光・鬼怒川エリアにおいては、アドベンチャーツーリズムの促進に向けた支援によるコンテンツの充実化を図ったほか、企業と連携した情報発信を行った。また、那須甲子・塩原エリアにおいては、ビジターセンターなどによる自然体験メニュー等の充実化を図った。各エリアにおいて様々な取組を行ったが、鬼怒川エリアを除くエリアでは、計画どおり取り組むことができなかった。

(3) 脱炭素・循環型を実現する国立公園に資する取組について

- ・ ルール・マナーの普及啓発と適正利用、脱炭素に向けた取組については、広域及び各エリアにおいて計画どおり取り組むことが出来た。

(4) 宣伝・誘客

- ・ 日光エリアについては、多言語対応パンフレットの配布や台湾に向けたプロモーションなど積極的な海外向け情報発信等を実施した。
また、塩原エリアにおいては、市広報媒体やLINE等による国内向け情報発信を実施した。

3 評価の詳細

(1) 広域

目指す姿	重点的取組事項	評価	計画どおり実行できた取組等(一部抜粋)
上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	
	良質な景観の保全	B	
	新しい利用形態や需要への対応	B	MaaS 利用の推進(販路拡大、利便性の向上)
	人材の育成	B	全国の学び合いの場に発展させるためのフォーラムの企画・開催
体験・滞在型の国立公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化	B	各エリアにおいて、夜間や冬季誘客に繋がるイベントを実施
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化	B	Web サイトや SNS 等を活用した個別の情報発信
	連携強化	B	・みんなでつくろう日光国立公園～セミナー&交流会の実施 ・満喫プロジェクト各エリア分科会による地域課題の検討協議
脱炭素・循環型を実現する国立公園	受益者負担による環境保全	B	市民活動・ボランティア活動による環境保全活動の推進
	<u>ルール・マナーの普及啓発と適正利用</u>	A	<u>国立公園の利用ルール・マナーの普及啓発の実施</u>
	<u>脱炭素に向けた取組の推進</u>	A	<u>ゼロカーボンパーク・脱炭素先行地域の推進</u>
宣伝・誘客		B	・海外旅行 AGT、メディア等の招聘、SNS 等を活用した情報発信 ・観光列車、臨時列車の設定などの多様な商品造成
その他		B	日光国立公園指定 90 周年に向けた関係団体の連携

(2) 日光エリア

目指す姿	重点的取組事項	総合 評価	各地区の評価				計画どおり実行できた取組等(一部抜粋)
			世 界 遺 産 周辺	中禅 寺湖 畔	奥日光湯 元・光徳	片品	
上質で奥深い魅力 を満喫できる国立 公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	A	A	B	B	
	良質な景観の保全	B	－	A	B	－	景観保全のための維持管理の推進(オオハンゴンソウ等外来種駆除等)
	新しい利用形態や需要への対応	A	S	A	A	－	(世界遺産周辺)観光庁 地域と一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業 宿泊施設・観光施設の改修
	人材の育成	A	－	－	A	－	(奥日光湯元・光徳)ガイド資質向上のための研修の実施
体験・滞在型の 国立公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化	A	A	A	S	－	(奥日光湯元・光徳)観光庁 インバウンドの地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成支援事業 冬季アクティビティ研修
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化	B	A	A	B	B	(共通) ・アドベンチャーツーリズムの促進に向けた支援(補助金の実施)、 新たなブランディング「NEWDAY, NEWLIGHT. 日光」による市の魅力発信と、それによる観光プロモーション「Route.N」の実施 ・アウトドア事業者(㈱モンベル)と連携した情報発信等の実施
	連携強化	B	A	B	A	B	満喫エリア分科会等による地域課題の検討協議・異業種交流等
脱炭素・循環型を 実現する国立公園	受益者負担による環境保全	B	－	A	B	－	(中禅寺湖畔)低公害バス運行 (奥日光湯元・光徳)一部駐車場有料化の継続等。 (共通)ボランティア活動等による環境保全活動の推進
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	A	－	A	A	－	国立公園利用者への普及啓発・パトロール等の実施
	脱炭素に向けた取組の推進	A	A	A	A	－	E Vシェア・Eバイク設置・バイオバスの運行等
宣伝・誘客		S	－	－	－	－	多言語パンフレットの作成、台湾へのプロモーション、JNTO を活用した情報発信
その他		A	－	－	－	－	誘客戦略の内容に基づき、アクションプランの策定及び実施

(3) 鬼怒川エリア

目指す姿	重点的取組事項	総合 評価	各地区の評価		計画どおり実行できた取組等(一部抜粋)
			鬼怒川・川治 温泉	湯西川・川 俣・奥鬼怒	
上質で奥深い魅力 を満喫できる国立 公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	B	B	
	良質な景観の保全	B	B	—	
	新しい利用形態や需要への対応	A	A	—	(鬼怒川・川治温泉)MaaS 利用の推進
	人材の育成	B	—	—	(共通)DMO機能強化に資する人材育成の実施
体験・滞在型の国立 公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの 強化	A	—	—	(鬼怒川・川治温泉)鬼まつり(春節アジア向け誘客) (湯西川・川俣・奥鬼怒)かまくらまつり、秋祭り
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案 内機能の強化	A	A	A	(共通) ・アドベンチャーツーリズムの促進に向けた支援(補助金の実 施)、新たなブランディング「NEWDAY, NEWLIGHT. 日光」によ る市の魅力発信と、それによる観光プロモーション 「Route. N」の実施 ・アウトドア事業者(株)モンベル)と連携した情報発信等の実 施
	連携強化	A	A	A	(共通)鬼怒川エリア分科会による地域課題・取組の議論検討
脱炭素・循環型を実 現する国立公園	受益者負担による環境保全	—	—	—	
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	A	—	—	観光案内所等での普及啓発パンフ等の配布
	脱炭素に向けた取組の推進	A	—	—	ゼロカーボンパーク・脱炭素先行地域の推進
宣伝・誘客		B	—	—	海外に向けたプロモーションの推進
その他		—	—	—	

(4) 那須・甲子エリア

目指す姿	重点的取組事項	総合 評価	各地区の評価			計画どおり実行できた取組等(一部抜粋)
			那須高原・ 那須温泉郷	板室 温泉	甲子	
上質で奥深い魅力を満喫できる国立公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	B	B	B	(甲子) 西郷村旧「家族旅行村」を森林スポーツ公園として計画策定
	良質な景観の保全	B	A	B	—	
	新しい利用形態や需要への対応	B	A	B	B	(那須高原・那須温泉郷) 地域・観光型 Maas 利用促進 (NASU-Ways) 等 (板室温泉) 木野俣園地における駐車場整備及び駐車場有料化
	人材の育成	B	A	—	C	(甲子) 若年層のガイド育成について継続検討中
体験・滞在型の国立公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテンツの強化	B	— B	—	B	(那須高原・那須温泉郷) 実証実験(ナイトアウトドアサウナ、ツリークライミング、 LeaveNoTrace ワークショップ、クラフト、アパレルストアー、大 人数の学校団体受入、マルシェ等)を実施(那須平成の森) (甲子) 観音沼森林公園にてライトアップを実施
	コンテンツの充実と上質化、情報発信・案内機能の強化	B	B	A	B	(那須高原・那須温泉郷) E バイクでのセルフガイド付きレンタサイクルの実施等
	連携強化	A	B	A	A	(那須高原・那須温泉郷) 満喫那須甲子エリア分科会による地域課題の検討協議
脱炭素・循環型を実現する国立公園	受益者負担による環境保全	A	A	A	—	(那須高原・那須温泉郷) 那須平成の森サポーター制度の検討・構築・実施
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	—	—	—	—	VC・観光案内所等での国立公園利用の普及指導等
	脱炭素に向けた取組の推進	A	—	A	—	脱炭素先行地域・ゼロカーボンパークの推進
宣伝・誘客		—	—	—	—	広域での誘客促進活動・JR 大宮駅等での普及活動等
その他		—	—	—	—	

(5) 塩原エリア

目指す姿	重点的取組事項	総合 評価	各地区の評価		計画どおり実行できた取組等(一部抜粋)
			塩原 温泉郷	八方 ヶ原	
上質で奥深い魅力 を満喫できる国立 公園	既存施設再整備と維持管理、上質化	B	B	B	
	良質な景観の保全	B	B	B	(塩原温泉郷) 那須塩原市塩原、天狗岩展望台付近の修景伐採の実施
	新しい利用形態や需要への対応	A	A	—	(塩原温泉郷) 地域・観光型 Maas (NASU-Ways) の利用
	人材の育成	B	—	—	環境省事業による人材育成研修会等への参加
体験・滞在型の国立 公園	宿泊・閑散期誘客につながるコンテ ンツの強化	A	A	A	(塩原温泉郷) 塩原温泉竹取物語(ライトアップイベント)等の冬季・夜間コ ンテンツの充実に向けた検討 (八方が原) 野営場の整備・運営
	コンテンツの充実と上質化、情報発 信・案内機能の強化	B	A	B	(塩原温泉郷) 自然体験メニュー、ガイドツアー等の充実
	連携強化	A	A	A	(塩原温泉郷) 二次交通関連対策(シェアサイクル、MaaS 等の実証) (八方が原) 国立公園内のピストン運行による渋滞緩和対策(ツツジの時期) (共通) 塩原エリア分科会による地域課題の検討協議等
脱炭素・循環型を実 現する国立公園	受益者負担による環境保全	A	A	—	(塩原温泉郷) 責任ある観光(レスポンスツーリズム)の推進
	ルール・マナーの普及啓発と適正利用	A	—	—	VC 等でのマナーブックの配布・利用指導等
	脱炭素に向けた取組の推進	A	A	—	(塩原温泉郷) ゼロカーボンパークの推進
宣伝・誘客		A	—	—	市広報媒体、L I N E 等を活用した広報の実施
その他		—	—	—	